

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【公開番号】特開2008-159148(P2008-159148A)

【公開日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-027

【出願番号】特願2006-346202(P2006-346202)

【国際特許分類】

G 11 B 27/00 (2006.01)

G 06 F 12/00 (2006.01)

【F I】

G 11 B 27/00 D

G 06 F 12/00 5 2 0 E

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月21日(2009.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第一の付帯情報から該第一の付帯情報に関連付けられた第二の付帯情報を検索し、該第二の付帯情報から該第二の付帯情報に関連付けられた画像データを検索する画像データ管理装置において、

前記画像データを削除する削除手段と、

前記削除された画像データに関連付けられた前記第二の付帯情報から第三の付帯情報を生成する生成手段と、

前記第三の付帯情報が検索されないように、該第三の付帯情報を前記第一の付帯情報に関連付ける関連付け手段と、

前記削除された画像データに関連付けられた前記第二の付帯情報を削除する付帯情報削除手段とを有することを特徴とする画像データ管理装置。

【請求項2】

前記第三の付帯情報は、前記第二の付帯情報の要約情報であることを特徴とする請求項1に記載の画像データ管理装置。

【請求項3】

前記第三の付帯情報を用いて、削除された画像データを示す情報を表示する表示手段を有することを特徴とする請求項1乃至2のいずれかに記載の画像データ管理装置。

【請求項4】

前記表示手段は、前記第二の付帯情報と前記第三の付帯情報とを用いて、前記削除された画像データを示す情報と削除されていない画像データを示す情報とを異なる表示形式で表示することを特徴とする請求項3に記載の画像データ管理方法。

【請求項5】

更に、前記データ削除手段による前記第一のデータの削除に応じて、前記第一のデータを外部装置に転送する転送手段と、

前記第三の付帯情報に基づき、前記外部システムから、前記削除された第一のデータを取得する取得手段とを有することを特徴とする請求項1乃至4のいずれかに記載の画像データ管理装置。

**【請求項 6】**

第一の付帯情報から該第一の付帯情報に関連付けられた第二の付帯情報を検索し、該第二の付帯情報から該第二の付帯情報に関連付けられた画像データを検索する画像データ管理方法において、

削除手段が、前記画像データを削除する削除工程と、

生成手段が、前記削除された画像データに関連付けられた前記第二の付帯情報から第三の付帯情報を生成する生成工程と、

関連付け手段が、前記第三の付帯情報が検索されないように、該第三の付帯情報を前記第一の付帯情報に関連付ける関連付け工程と、

付帯情報削除手段が、前記削除された画像データに関連付けられた前記第二の付帯情報を削除する付帯情報削除工程とを有することを特徴とする画像データ管理方法。

**【請求項 7】**

コンピュータを、

第一の付帯情報から該第一の付帯情報に関連付けられた第二の付帯情報を検索し、該第二の付帯情報から該第二の付帯情報に関連付けられた画像データを検索する画像データ管理装置において、

前記画像データを削除する削除手段と、

前記削除された画像データに関連付けられた前記第二の付帯情報から第三の付帯情報を生成する生成手段と、

前記第三の付帯情報が検索されないように、該第三の付帯情報を前記第一の付帯情報に関連付ける関連付け手段と、

前記削除された画像データに関連付けられた前記第二の付帯情報を削除する付帯情報削除手段とを有することを特徴とする画像データ管理装置として機能させるためのコンピュータプログラム。